

わたしたちのくらしと  
水とのかかわりを探ろう

4000年前 ●  
3000年前 ●  
2000年前 ●  
1000年前 ●  
800年前 ●  
500年前 ●  
300年前 ●  
100年前 ●  
現在 ●

わたしたちのくらしに欠かせないもの、それは水です。毎日の食事、洗たく、お風呂、トイレなど水がなければ生きていけないといってもよいぐらいですね。幸せなことにじゃぐちをひねると、たくさんの水を使うことができます。しかし、昔は水が足りなくてとても苦労しました。

また、この写真のように、たくさんの水がわたしたちのくらしをおびやかすこともあります。

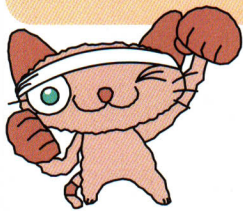
さあ、これから、ゆたかな水をもとめ、水とたたかってきた先人たちの歩みを調べ、わたしたちのくらしと水とのかかわりを探っていきましょう。



① 水門町のひがい（昭和61年）

## ゆたかな水をもとめて

郡山は、いつごろ水道ができたのかな？  
タイムマシンにのって水道の歴史を調べてみよう！



② 皿沼の水神さま

## 【今から300年くらい前の郡山です…】

このころの郡山は宿場町しゅくばまちとして栄え、人口も増えてきました。そのため、飲み水がたりなくなりました。そこで、皿沼さらぬまの水をなんとか飲み水にしたいと考えました。皿沼は、虎丸長者とらまるちやうじゃが皿さらや器うつわを洗ったといわれているため池です。1721年、お殿様に「皿沼の水を飲み水として使わせてください」とお願いしましたが、ゆるされませんでした。毎日の飲み水に困っている郡山の人々は、いっしょうけんめいお願いしました。そして、やっと1722年におゆるしがでて、皿沼水道さらぬまができました。郡山の人々は大変喜んで、皿沼の土手に水神どて すいじんさまをまつって感しゃしました。それが、今の郡山商こおりやましよう工会議所こうかいぎしよの入口に立っている水神さまのほこらです。